

長久手市国民健康保険保健事業について

資料3

第2期データヘルス計画(平成30年度～令和5年度)

長久手の健康課題を把握し、その課題整理に基づき被保険者の健康保持増進にむけて必要な個別保健事業を実施しています。

新規事業 ◎ 拡充事業 ○

1 特定健康診査受診率向上・特定保健指導利用率向上事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況				
死因や医療費が多い原因は生活習慣病である。	特定健康診査でリスクの早期発見・予防ができることから、特定健康診査の受診率の向上や特定保健指導実施率の向上を目指す。	【特定健康診査】 未受診理由アンケートによると、通院中で定期的に検査をしているため受けないという人が多い。 集団健診の当日欠席者が多い。	<b>健診受診率</b> (受診者数/対象者数)		<b>平成30年度</b> 52.7%(8位) (3,156人/5,989人)	<b>令和元年度</b> 54.1%(9位) (3,160人/5,845人)	<b>令和2年度</b> 50.7%(4位) (2,952人/5,827人)	<b>令和3年度</b> 55.4%(1位) (3,145人/5,678人)	<b>令和4年度</b> 実施中
			<b>受診勧奨通知</b>	令和4年度健診未申込者を対象に受診勧奨通知を送付。健診受診歴、健診所見有無及び生活習慣病における医療機関受診有無、生活改善意欲により、7パターンに分類し、対象者に合わせた通知を行った。			送付時期 令和4年7月 通知件数 3,088件 申込件数 283件 (9.2%)		
			<b>◎オンライン申込受付の開始</b>	健診予約システムを導入し、健診案内や受診勧奨通知にQRコードをのせてオンラインで日時を指定した申込みや申込み内容の変更ができるようにした。			オンライン申込件数 1,334件/3,703件 集団健診当日キャンセル率 令和3年度 15.9%⇒令和4年度 8.8%(7.1%減) 集団健診受診者数 令和3年度 1,870人⇒令和4年度 1,918人(177人増加)		
			<b>○初回面談分割実施</b>	集団健診会場で腹囲、BMI、血圧から対象者を判定し、初回面談を行う。令和4年度は利用率向上のため、問診時に医師から保健指導へ誘導してもらうようにした。(保健指導は管理栄養士により実施)			実施件数 令和3年度 37件(実施率39.8%) 令和4年度 68件(実施率93.2%)		
		<b>【特定保健指導】</b> 利用勧奨時の聞き取りによると、平日昼間に時間がとれない人や、保健指導の必要性を感じていない人が多い。	<b>オンライン保健指導の実施</b>	対象者には、健康づくり事業で活用している加入者向け健康WEBサービス内にバナーを表示し、特定保健指導の利用の案内、予約を行い、テレビ電話やチャットによるオンラインで特定保健指導を行う。			実施件数 令和3年度 1件 令和4年度 3件		

2 重症化予防事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
疾病別医療費割合で最も多いのは糖尿病である	糖尿病が重症化し、合併症を引き起こすことを防ぐ。	重症化し人工透析や手術、入院が必要になると多大な医療費がかかっている。  【現状】 令和3年度 ・人工透析を受けている人 12人 ・生活習慣病が原因の心疾患で50万円以上の治療が必要となった人 4人(計14,232,090円)	(専門医と連携した) <b>糖尿病重症化予防事業</b>	人工透析や心疾患で入院や手術に至る可能性の高い者をAIにより抽出し、愛知医科大学病院糖尿病内科専門医やかかりつけ医と連携し、管理栄養士、薬剤師によりアプリやZOOMなどを活用した個別指導(生活・食事・服薬・運動)を行う。専門医から投薬や食事指導についてのアドバイスをいただいたり、事業の最後にはかかりつけ医に向けて診断基準を提示してもらうため、事業終了後も、医療連携が期待できる。専門医と連携した取組は全国的にもめずらしい。	令和4年度実施中 ・事業参加者 13名(令和3年度 9名) うち、アプリ利用者12名(令和3年度 4名) ・事業に参加表明した医療機関 市内かかりつけ医 11機関 (うち、事業実施4機関(令和3年度 2機関)) ・事業に参加している専門医 愛知医科大学糖尿病内科 4名

3 健康づくり事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
心筋梗塞患者のうち、約24%が60歳以下で発症しており、若年者は、高齢者より心肺停止で発症することが多い。	肥満、喫煙、魚の摂取不足が若年性心筋梗塞のリスク要因と考えられるため、生活習慣の改善が必要である。	EPA/AA比(魚の摂取量を測る値)が低い人が多い。	◎若年性心筋梗塞予防事業	特定健診の血液検査項目にEPA/AAを追加し測定した。愛知医科大学循環器内科専門医により、喫煙歴、BMIと合わせてリスク分析を行い、リスク者を対象に管理栄養士による栄養指導等を実施する。  若年性心筋梗塞についての理解を深めるため、小学生及びその親を対象に心臓について楽しく学ぶイベントを実施し、愛知医科大学循環器内科専門医による講義等を行う。	令和3年度個別特定健診を受診した60歳未満250人を対象に、EPA/AA比の測定を実施した。 【EPA/AA比】 0.1以下 13%、0.1～0.3 56%、0.3～0.5 23%、0.5以上 8% 全体の約70%がEPA/AA比0.3以下であり、特に40歳以下の平均は男女ともに0.2以下であった。魚摂取の少ない食生活が若年層では一般的であると思われる。  栄養指導対象者 12名  若年性心筋梗塞予防イベント 令和5年2月開催予定